

弁護士の将来像

高22回 鈴木銀治郎



■事務所 隼あす

事務所
隼あすか法律事務所
パートナー弁護士

司法研修所同期の三十五周年の集いがありました。弁護士となつて既に三十五年以上が経過しました。この間、一貫して企業法務と倒産法の分野の仕事に携わつてきました。数年前、全国的な投資被害事件となつた東京簡易裁判所調停委員会公益財団法人日本スペイン協会監事

■プロフィール ■



卒業後30年の所感

高35回 馬淵昭彦

同窓生の皆様こんにちは。私は、日本の秘境百選の一つ桶ヶ谷沿に程近い小さな集落で生まれ育ち、向笠小学校、向陽中学校を経て磐田南高校に入学しました。小学校1クラス、中学校は2クラスでしたので高校では学校の大きさに圧倒され、また同じ中学校出身者は数える程しかおらず非常に心細かったのを覚えています。それもあって高校時代はなるべく多くの同級生と交流を持とうと考え、部活動も一番志望者が多かったテニス部を選びました。当時の部活動の練習は本当にきつくて

夜遅い帰宅、翌日朝は自主練習というテニスで漬けの高校時代でした。残念ながら才能に恵まれず一回戦負けで私の青春は終わってしまいました。高校時代は多少の不登校はあったものの幸運にも素晴らしい恩師、同級生に恵まれ楽しく充実した日々を送りました。

現在は、大学で人類遺伝学分野の研究・教育に携わっております。大学卒業後10年弱は整形外科医として特に股関節外科を学びました。その後、股関節の疾患と遺伝との関係に興味を持ち、2000年に理化学研究所多型研究センターに研究員として採用され、それ以来遺伝子・ゲノム学研究に従事するようになりました。

私が現在所属する研究室は、日本で最も早く設立された人類遺伝学という名称を持つ研究室です。国際色豊かで台湾、マレーシア、ミャンマー等アジアを中心として多くの留学生も集まっています。ご存知の方も多いと思いますが、東京大学では濱田純一総長を中心とし、一部大学・経済界の賛同を得て大学教育のグローバル化を押し進めるため秋入学への移行を検討しました。その後、様々な学内外の教育・社会制度等の問題から、学事暦を早急かつ大幅には変更しないことになりました。自分自身は、当初の5年内を目処としたプラ

今では中学・高校在学中の生徒さんへの進学システム変更の影響による無用な混乱は避けるべきであり、教育・人材養成の観点からはデメリットも大きいと考えております。ただ、社会・経済のグローバル化は進展することはあっても後戻りすることはあります。今そして未来の日本の社会と国際社会に対応できるよう大学自身が変遷することは必須でしょう。

遺伝学的には日本人は比較的多様性でいます。また、Y染色体ハプロゲルはチベットのみと一部共通部分がある独特かつ比較的古いと考えられる遺伝を続けています。遺伝学においては、ここに富む集団は乏しい集団に較べ、さまざま環境下で生き延びることができると考へています。この多様性が、日本の南北など時間の概念が短縮化し、かつインタークレード条件の影響に負けずに日本が繁栄を遂げています。この多様性が、日本が原動力となっているのかもしれません。

と時間の概念が短縮化し、かつインタークレード条件に代表される情報化が進んだため、これが容易にコミュニケーションをとること

さる現代では、遺伝子自体のこれ以上の多様性は必要ないかもしれません。社会や制度の多様化・変革を行うことでグローバル化や国際競争といった様々な環境・状況への対応力をつけなければなりません。伝統を保持しつつグローバル化という新しい波に打ち勝てるよう、我々の社会システムを考える時期に来ているのだと思います。

最後に、在校生の皆さんへ。偉そうなことを書かせて頂きましたが、私自身は高校時代に思い描いていた道とずいぶんかけ離れた道を進んでしまいました。また、なぜこのような道に迷い込んだのかこれがお前のやりたいことなのかと、この年齢になってしまっても苦悩してしまいます。未来は皆さんが作るもの、我々はその下準備をしているに過ぎません。やりたいことがあるのならその道にぜひ進んでください。

記者の仕事に興味を持ったのは半年間の海外留学（遊んでばかり）から帰国した大学4年の夏。海外特派員記者である大学OBの講演を聴き、「色々な場所に行き、様々な事を学べる仕事では」と思ったのがきっかけです。「記者なんだから、元々読書好きなのでしょう」と周囲から尋ねられる時がありますが、とんでもない。磐南生だった頃も大学生の時も、冒頭の男性と同じで読書や新聞を読むのは得意と言えませんでした。

そのためでしょうか、活字に抵抗を感じる人の気持ちが分かる気がします。だからこそ、日々の仕事で最も意識するのは、分かりやすく、読みやすい文章を書くことです。専門用語を避け、漢語は違和感のない範囲で和語に直します。

「若者の活字離れ」と言われますが、新聞には、「読者がからすれば、難しすぎて読まないだろうなあ」と感じる記事もあります。我々、現場の人間がすべき努力があるはずです。

初任地の岩手県では東日本大震災を取材しました。山梨県には昨年秋に赴任し、9人が死亡した中央自動車道・笛子トンネルの天井板崩落事故を追っています。ニュースの現場に立てるのは記者冥利に尽きます。取材させていただく、書かせていただく、そんな謙虚な姿勢でペンを執り続けたいです。

A black and white photograph featuring a large, expressive brushstroke of Japanese calligraphy in the foreground. The characters read "生は今" (Ishika ni wa), which translates to "Life is now". The background consists of soft-focus foliage and branches, creating a sense of depth and natural beauty.

K会社事件や七十万近い債権者となったS消費者金融事件の管財人として全国の弁護士や司法書士とお会いしてきました。弁護士を取り巻く環境は近時激変していくのです。ロースクール制、弁護士数の増加などこうしたことから若い世代が弁護士の将来免に不安を持たれているという話も時々聞きます。私は以前にも増して益々社会経済からの需要は高く、弁護士はこう心がけるべく一段

までそう思っていました。まさか見中の創立時の人々が現役でこの分野で活躍されているとは思いもよりませんでした。その後お会いする都度様々なお話をいただきましたが、誠に有益なことばかりでした。お亡くなりになる直前、某専門雑誌から都労委の審理を厳しく批判され、これに浅沼先生が大変憤慨されたということを聞きました。事の真相はわからずましたが、浅沼先生の生名から唯／＼事件生

待される分野は益々多くなり広がっていくものだと思います。社会の進化スピードに伴い、その仕事の内容もより高度化し国際化していくことは避けられません。弁護士に求められるレベルは益々高くなつていくものと思います。



讀賣新聞甲府支局
記者

読者のためにできること

高56回 水野翔太



絆とは縁とみたり

高3回 田中良昭

■プロフィール ■
駒澤大学名誉教授

今年のテーマは『絆』です。絆とは、本来は馬や犬などをつけた縄のことですが、そこから転じて断つてもつなぎとめる縄のことです。すが、そこから転じて断つてもつなぎとめる縄のことです。

うにも断ち切れない人の間の結びつき。(岩波国語辞典)

そもそも私たちが「人間」(にんげん)といっているのは、この絆の解釈に出てきた「断ち切れない人の間」からきている言葉です。漢文ではこの「人間」を「じんかん」と読ませて「人の世、世間」の意味(角川新字源)に用いています。

この人と人との結びつけ

る絆のことを、私が永年学

んできた仏教では「縁」(えん)といいます。仏教を開

かれた糸尊(しゃくそん)は、

この世のあらゆるもののが縁

によって起っている「縁起

(えんぎ)の道理」という事

実に目覚め、これを他の人

びとに伝え、そこから仏教

が成立し、発展していった

のです。

糸尊のこの教えは、後に

中国にも伝

わりました

が、中国唐代の代表

的仏教学者である法

藏(ほうぞう)

う)は、それを「一人

即一切人、一切人即一

人」と表現されまし

た。この言葉を直訳すれば、

「一人の人間は、あらゆる人

と関わりを持っており、あ

らゆる人との関わりによっ

て一人の人間が存在する」

となります。私はこの言

葉を、「私が努力を重ねることによって多くの人びとを

幸福にすることができるし、

できること」(この言葉)

であります。

私が小児科医として励まされたのは、「それ

いえましょ。

高知 心の旅Ⅱ

平成25年4月20日(土)~22日(月)

尾崎楠馬先生の建学の精神につながる「考える村」を訪ね、村の創設者入交好保氏の哲学「自然の中に入間の生き方を考える」を学び、互いにその精神性を引き継ぐ意義と大切さについて交流する



元吉事務局長（左から3人目）の大歓迎を受けて

4月20日（土）小雨夜雨
桂浜、坂本龍馬記念館、
自由民権記念館（高知市）
西鉄インはりまや橋泊
五台山展望台、竹林寺（高
知市）ありがとう駅（南
国市）船本楠吉先生頌徳
碑、尾崎楠馬先生生家跡
地（安芸市）大釜荘（香
南市）考える村（芸西村）
考える村考堂泊

4月21日（日）晴
五台山展望台、竹林寺（高
知市）ありがとう駅（南
国市）西鉄インはりまや橋泊
桂浜、坂本龍馬記念館、
自由民権記念館（高知市）
西鉄インはりまや橋泊
五台山展望台、竹林寺（高
知市）ありがとう駅（南
国市）船本楠吉先生頌徳
碑、尾崎楠馬先生生家跡
地（安芸市）大釜荘（香
南市）考える村（芸西村）
考える村考堂泊

4月22日（月）晴
県庁おもてなし課、本間
翠様宅、啄木父子の歌碑
(高知市)

記念式典での大西さん
(考える村ブログに掲載)

前回（平成16年4月）は
尾崎家の墓参り、高知県教
育委員会の表敬訪問でした。
今回は、90周年記念式典
に、高知から大西智予さん
が来席してくれたことから、
お招きを受けました。

2回の訪問団長として

雨の空路を飛んで

建学の精神を忘れない為

にも、何としても行かねば

と思っていた。

初日、私は臨済宗妙心寺

法要大会を終えて夕方羽田

より空路高知へ。出迎えて

くれた大西さんの車で宿泊

先のホテルに着き、陸路現

地入りした5人と合流した。

とと思っていた。

派主催の千鳥ヶ淵平和祈念

面談。それから、本間翠さ

ん（楠馬先生の末妹の長男

の妻）宅を訪ね、昼食をご

ちそうになった。寺尾禮二

理事を交えて本間謙太郎さ

ん（平成21年9月7日逝去）

と楠馬先生を偲びながら歓

談した。高知がより身近にな

なり、心温かく帰郷した。

翠様宅、啄木父子の歌碑

翠様宅、啄木父子の歌碑
(高知市)

的を果たすことが出来た。

県庁、本間さんのお宅へ

最終日は、高知県庁おも

てなし課の黒石佑介主事と

面談。それから、本間翠さ

ん（楠馬先生の末妹の長男

の妻）宅を訪ね、昼食をご

ちそうになった。寺尾禮二

理事を交えて本間謙太郎さ

ん（平成21年9月7日逝去）

と楠馬先生を偲びながら歓

談した。高知がより身近にな

なり、心温かく帰郷した。

翠様宅、啄木父子の歌碑

(高知市)

のと強く感じました。

と言ってしまえば簡単で

ありますが、90年も継続す

ることは並大抵のことでは

なく、やはり驚く他あります。

神が受け継がれていたもの

と強く感じました。

と言ってしまえば簡単で

ありますが、90年も継続す

ることは並大抵のことでは

なく、やはり驚く他あります。

神が受け継がれていたもの

と強く感じました。

と言ってしまえば簡単で

ありますが、90年も継続す

ることは並大抵のことでは

なく、やはり驚く他あります。

神が受け継がれていたもの

と強く感じました。

と言てしまえば簡単で

ありますが、90年も継続す

ることは並大抵のことでは

なく、やはり驚く他あります。

神



出席者のみなさん

特別座談会

《出席者（敬称略）》

- 十七代 同窓會長 江間 金作
 - 十八代 同窓會長 鈴木 源市
 - 二十一代 同窓會長 櫻井 孝順
 - 編集委員長（司会進行）伊藤 律夫
 - 編集委員 高橋 耕太郎
 - 伊藤 英明

大正十一年に開校した母校は、偉大な教育者初代校長尾崎楠馬先生が、何もない磐田の原っぱから労作教育を実践、特異の校風を築き、以来昨年九十年を迎えた。今回これを好機に次のテーマについて、歴代の同窓会長、櫻井同窓会長、初の母校出身の校長伊藤律夫先生を交え、座談会を開催した。

〔平成二十五年六月二十七日〕 学校応接室にて

建学の精神と 校訓を語る

テラマ

—尾崎校長と小田原教頭の威厳と風格—

尾崎校長の教育方針、 人間教育とは

—最初に江間さん、尾崎校長の教育方針とはどんなものだったのでしょうか。

江間 金作さん

江間 昭和三十五年から昭和四十五年まで評議員をやっていた。その当時は大先輩の多くが生存されていて、藤沢先生・秋野先生とか山下貢さんとかその他の一回生の皆さんと話す機会が多かった。その中で印象に残っているのは、尾崎校長は「また郷里に戻り、町を発展させられる様な人材になりなさい」と言われた事を先輩の方々から伺っている。尾崎校長の教育方針

少し付け加えますが、同窓会長を平成六年から平成十年まで竹内さんの後をやらせていただきました。その時に小田原先生の顕彰碑を作りました。発案は私ではなく小田原先生に薰陶を受けられた見中一回から七回の皆さんのが「小田原山に碑を造ってくれ」との願いからであった。式典の日は平成八年八月十八日、出席の皆さんには涙を流して喜んでくれたのを見て、「やって良かったなあ」と本当に嬉しく思った。又、はぐま会館の建設委員長をやった時は一番きつかったが、昭和五十八年十月に完成した。今やらないと出来ないという気持ちでやったが、一

鈴木 尾崎校長の将来を目指した教育とは、とにかく人間教育をしなければならないという信念で開校時

そこから未来を目指し学校教育は展開していく。単に労作教育で土方の仕事をさせていたのではなく、そのものの中に本質がある、「小さな仕事でも真剣に取り組み心をこめる事で自己自身を磨く事ができるのだ」と言っている。ドカ中と呼ばれながら、それらに耐えられるよう先生方もよくさせられたとの思いが強い。

櫻井 私は昭和四十年卒業の高十七回生です。体育科では今日ご出席の鈴木源市先生や、伊藤菊造先生がござ在籍の頃です。やはり体育科の先生が熱心に学校の校訓を大切にしながら指導しておられ、特に夏の暑い日に小田原山の草刈りなどが思い出に残っています。私達は直接尾崎校長や小田原先生には指導を得られなかつたのですが、その熏陶を受けた方々から直接指導を受ける事ができたのは嬉しかったです。

到協力があげ出来たものである。校訓については聞いた話ですが校長室に先生の教育信念である「質実剛健」「文武両道」の額が掲げられていたそうだ。しかし、あえてこれが校訓だとは言わなかつたし、制定をしなかつた。た。これは先生の性分だと行動で示すという考え方だつてこのでしよう。

先の人間教育とは、見中二回の方が書いた新聞記事に載つたものであるが、「タメのある人物ではなく一隅を照らす人間になれ、百姓なら日本一の百姓で、在官で

A black and white portrait of Sakai Toshinobu, an elderly man with a shaved head, wearing a light-colored button-down shirt. He is looking slightly to his left with a neutral expression. To the right of the portrait, a vertical column of text reads "高校生時代の思い出は" (Memories from my high school days) at the top, followed by "―― 櫻井会長の時代では、どんな思い出がありますか。" (During your president's term, what kind of memories do you have?). To the left of the portrait, there is vertical text: "櫻井" (Sakai) at the top, followed by "私は昭和四十一年卒業" (I graduated in Showa 41st year).

をやれば十年は良いとの噂よりの話で外付け工事の手法で実施した。

かろうか」と言われている。
現在この方向で学校が目
指してゆくなれば教育の理
念が生かされるはずと感じ
ている。

様子を書かれた遺稿集などを見て、いるが、八十年記念の時には、校舎移転の問題がからみ、移転により般南の校風が切れてしまうのではないかと心配した。「当時の生徒や今の校長先生に『建学の精神』を伝えていきたいとの気持ちが強かった。」

校長の式辞やPTAなど、第一号の記事とにかく教養の方向性が、具体的に示さ

又、八十周年記念で座談会を校長先生と生徒の代表との間で行った時の「百周年を目指して」の記事の中では、「価値観が多様化し、教育改革が叫ばれる現在、今後の地域や社会を担う人材には単に頭が良いとか勉強ができるだけでは済まされない。何かの資質が求められていく。母校が掲げられてきた三つの校訓にこそ今、若者に必要とされるその資質が

昨年九十周年行事に携わらせていただいたわけですが、今年関東支部は六十周年となり、記念誌発行の原稿依頼がありました。ちょうど伊藤新七郎校長の時で私が在校中に遺稿集が出たということがわかり驚いたわけです。私は僧侶の道という事で駒沢大学に進み寮に入つたんです。今回、関東支部にその原稿を送ったわけですが、見中三回生の酒井得元先生がその学生寮監をやっていましてわかれで、見中三回生の寮監をやつていてました。三回生ですから尾崎校長と一緒に寮二年間まったく高校時代と同じ様な教育を受けたわけですね。見中八回生の私の父の頃は、卒業記念にペンキ塗りで校舎をきれいにしたと聞いております。やはり伝統というものは作られてゆくもの、語り継いでゆくものだと思います。

労作教育による校風の確立



教師時代の労作教育は

—伊藤校長は母校での教諭時代に労作教育を実践したとか。

伊藤 私達同期には「卒業十年後に、学年全体で集まりなさい」と池谷先生の指示がありました。それで十年後に集まって組織を固めた上で、二十年後の総会当番というふうに先生の指示通り進んでいった記憶があります。

教員になってからの話です。尾崎先生の言行が、自分の中に藤沢先生から注ぎ込まれたという感じを強くもっています。

それとあと二つの出会いは「磐南の道程」という本が昭和四十五年、私が高校二年の時に作られました。その実行委員会の一人が中学生の先輩でしたので、苦労話をたくさん聞きました。実際に、小田原先生のご自宅まで訪ねて行つてインターネビューまでしてます。この本を購入して中を読み、グラウンドを作る、ブールや防風堤を作るといった精神が、この当時の（今六十歳になつた位の）生徒がルーツを探るという、高三の生徒が素晴らしい事をやったのです。

そして、六十周年記念誌を作る時、編集委員の端くれを務めました。また昭和五十五年度ですが、学校精神として「愛知求道」が掲げられ、これが数年間続きました。一方、昭和五十七年に新たにテニスコートを作ることになり、「待つてました」とばかりテニス部員と教員が炎天下一緒に師弟同行の土掘り作業を行いました。この時テニス部だけでしたが強く労作教育というのを、生徒達に伝えた記憶があります。平成二十二年に再び母校に赴任して参りましたが、九十年という年が既に迫っていましたので、何とか自分の知っている限りの、建学の時代の事を生徒達に伝えたいと思つて、集会の都度、「開校式は中泉農学校の講堂を、勉強は旧見付学校を借りりてやり、大正十一年七月見付

中学（校舎のみ）ができれば生徒達が重い木の机と椅子を夏の暑い日に、あの坂道を運んだ。こうして徐々に学校が造られてきました。防風堤などには先輩の汗が染み込んでいた時から「賀美剛健」は事ある毎に生徒に話ををしてきました。尾崎先生の頌徳の碑の移設の時も最初に三年生に聞いたところ、十名程度しか誰のものかは知らないなかだったので、「創立から三十年間校長を務められた尾崎楠馬先生の頌徳の碑だよ」という所から始めました。それまでは、このような話を聞く機会は少なかったと思います。卒業して何人から「九十周年にいらっしゃって良かった」あるいは「賀美剛健」とほどのものかと感想を書いている生徒がいたのは有り難かったなと思っています。語り継いでいかなければ消えてしまうものだから精神だけは語り継いでいきたい、と考えています。

質実剛健と文武両道

出して信頼関係を作った。これらは遺稿集にその話がよく出てくる。『磐南の道程』の中にも出ており、人間味溢れた人だった。

一校風を築くうえで、小田原教頭の存在は大きかったですね。

江間 尾崎・小田原先生は旧制土浦中学が出会いでその後、見中の尾崎校長は教頭を誰にするかとの点で「哲学・教育方針に総て合っている先生は小田原先生以外にいない」という事になった。当時、今の北朝鮮にいらっしゃって、「三顧の礼」をもつて迎え入れた有名な話がある。最初は「俺は朝鮮で骨を埋める」と言われて断られたそうだ。その度量たるや持つて生まれた人間性は、尾崎先生の「土佐っぽ」、小田原先生の「薩摩っぽ」ですね。濱口雄幸首相も土佐出身で同じ塾で机を並べたという話もある。昔でいえば寺小屋だったんだろうね。その時代から付き合いがあったのは坂本龍馬ではないが、続いているんですね。

鈴木 小田原先生が最初に尾崎校長に向き合い、自分の方から指導方針を示すと、校長は「そうか。全く私の考えと同じである。それだからあなたに生徒の指導は任せるよ」と言われた記録がある。だから尾崎校長は授業するものの、小田原先生には「労作教育」を任せ、厳しさを教え込んだ。天下一品小田原山の築堤に

「この教育方針で成果が出なかつたなら、ここに俺を埋めろ」と始めた事なんです。その結果は、成果が上がり良かつたです。命をかけた仕事・教育だったんですよ。江間 小田原教頭の顕彰碑は、薰陶を受けた中一～中七の人達が「小田原山に造つてくれ」と強い要望があり、言う通りにしました。

今の生徒達には卒業してからも南高に残るいろいろな歴史や良き伝統を身に付けたことを、将来忘れないように成長していくってほしいですね。

—小田原山の麓で体育の授業をやられた思いは強いでしよう。

鈴木 小田原山の話題ですが、六メートルの高さの堤防工事は、辛い作業だったそうですよ。この学校のグランドで働くかせてもらった者として全国どこを見ても、このような防風堤がある学校なんて無いと思いますよ。何も無い草ぼうぼうの吹きさらしの台地に学校を作らなければならず、遠州の空つ風に打ち勝つ為には防風堤が必要だとして、小田原教頭のお考えで尾崎校長にも相談されただろうが、造ったという事です。

校風をつくる過程で記録の中にもあるけど、「感化する」という言葉が出てくるんですね。感化とは教えた事をそのまま鵜呑みにするんじゃなくて、やはり感じて気持ちの中でも、この防風堤のこの場所で授業をやってるという事が、やはり非常に落ち着けるという気持ち

真劍至誠

が持てた。空つ風から守つてくれたこの環境は、「代えがたいありがたさ」がある。先輩達はすごい事をやつたものだと感心する。

櫻井 校訓の「真剣至誠」の問題も今回でいいわけですが、「校訓碑を見ながら指導を受けた生徒が、それぞれ羽ばたいているものですから歴史としては、正しく伝えていかなければならぬいし、それはモットーとして掲げて頂きたい」と思っています。

当時の導入経緯を知る先生の話を聞く中に、「やはり色々な事があろうかと思いますが、今それを体験して体得した人達が育っているという事実を思うとそれはそれなりに大事にしてもらいたい」と思います。

「言葉ではないあらわせない感動を与える人でしたね。私の一生の間の人ほど感動を与えた人はありませんね」(この言葉は『さむらい教師伝』より引用)

校長は二項目の校訓を言っているんですが、それを裏打ちする「真剣至誠」は大きな意味がある。「文武両道」・「質実剛健」の二つを支えるというもので、「生き方として魂を入れる」と、そのように私は受け止めているんです。だから校長の二訓の一角に入れるという事ではなく、指導として実際に実践した自分自身の方針だったと思います。

江間 だけど大先輩の方も、私もだが、その事を知らない人が多い。だから二つだけを認識しているわけで、後で「真剣至誠」を入れたという事だからその経緯をはっきりしなければならないし、そうしなければならないわけです。

鈴木 何にしても校訓は学校で校長先生が、ためらう事なく生徒に教えられる様にならなければ嬉しい事である。それには同窓会として「真剣至誠」が後になって追加されたものだと言う経緯を評議委員会で説明をしてゆく必要がある。

鈴木 ずっと教育方針の経過の中で三項目が伝えられてきたわけで、「あやふやになる」という事は好ましくない。今の三訓の通りにやつていかなればならない」と思っています。

一本日は貴重なお話をありがとうございました。この座談会をはずみに次の100周年に向けて同窓の絆を一層深められる様願っています。

昭和五十五年頃、当時の二訓の一角に入るという事ではなく、指導として実際に実践した自分自身の方針だったと思います。

江間 ただ、大先輩の方も、私が校訓だという事は知らないわけです。

鈴木 考えてみると、この3つの言葉は本当にいい言葉である。改めて校訓について調べてみると、この3つの

言葉は本当にいい言葉である。改めて校訓について調べると思う。しかしどのくら

いの磐南生がこの校訓の3つの言葉をしっかりと意識して学校生活を送っているだろうか。黒板の上にも、生徒手帳にも記されているが、ちゃんと意識していないと気にも止まらないようにも思われる。もっと磐南生が見中・南校の校訓とされていた「質実剛健」「文武両道」に「真剣至誠」を新たに校訓として加えたい、ということが提案され、現在の三つの校訓になった。それ故、卒業生の方々は、「真剣至誠」が校訓だという事は知らないわけです。

江間 でも、その事を知らない人が多い。だから二つだけを認識しているわけで、後で「真剣至誠」を入れたという事だからその経緯をはっきりしなければならないし、そうしなければならないわけです。

鈴木 何にしても校訓は学校で校長先生が、ためらう事なく生徒に教えられる様にならなければ嬉しい事である。それには同窓会として「真剣至誠」が後になって追加されたものだと言う経緯を評議委員会で説明をしてゆく必要がある。

鈴木 ずっと教育方針の経

過の中で三項目が伝えられ

てきたわけで、「あやふやに

なる」という事は好ましくな

い。今の三訓の通りにやつ

ていかなればならない」と思

っています。

鈴木 本日は貴重なお話をありがとうございました。この座

談会をはずみに次の100

周年に向けて同窓の絆を一層

深められる様願っています。



昨年(H24)7月に発行されたわが同窓会編集による『回憶録第2号』を読んでみて、特徴的なのは見中までの寄稿者32人中11人以上が、恐ろしかった空襲体験に言及していることであります。なかでも1945(S20)年5月19日の爆撃にふれたものが、圧倒的に多い。他の回になると「磐田には爆弾が一発落ちたもので死の恐怖の実感はなかった」との記述もあり、同じ戦争の体験でもその認識には、大きな隔たりのあることを感じます。

私は高2回(中学23回)に相当)生なので、戦禍をまともに受けた一人と思っていました。私自身見付国民学

校時代の同級生3名を、同じ見付町内に落ちた爆弾で

失っており、私が生活していた

高校生活もあつといいう間

に半分が過ぎてしまった。

高校生活もあつといいう間

に残りの半分は高校3年間の

中でも大事な時間となる。

高校生が充実して飾り気

がなく心身ともに強くたく

ましいさま、真剣至誠は、

これまでの高校生活の忙

しさからすっかり頭の中か

ら抜けてしまっていた。今

回改めてこの校訓について

考えてみたいと思う。

まず、3つの言葉の意味

を調べてみた。質実剛健と

武両道、この3つの言葉は

磐南の校訓だ。中学3年の

受験の時には必死に覚えた

意識してやつていれば、う

まくいった時の達成感は大

きなものになるし、効率も

良くな物事を進めることができると思う。校訓が私たち

に与えてくれるのは大き

いのだ。

高校生活もあつといいう間

に残りの半分は高校3年間の

中でも大事な時間となる。

高校生が充実して飾り気

がなく心身ともに強くたく

ましいさま、真剣至誠は、

これまでの高校生活の忙

しさからすっかり頭の中か

ら抜けてしまっていた。今

回改めてこの校訓について

考えてみたいと思う。

</div

故郷の周辺をたずねて

料：磐田市教育委員会 文化財課
取材：鈴木昭次（高12回）

— 御厨の歴史と鎌田神明宮 —

特に「松林山古墳」は四世紀後半に造られた大和王権と結びつきの強い豪族の墓と推定されます。

名称（形）	大きさ（m）	発見された遺物
松林山古墳（前方後円墳）	全長 107	三角縁神獣鏡・劍・柱形石製品・玉・刃・埴輪など
高根山古墳（円墳）	直径 52	埴輪
御厨堂山古墳（前方後円墳）	全長 35	刀・斧・土器
秋葉山古墳（円墳）	直径 50	土器
稻荷山古墳（前方後円墳）	全長 47	土器

御厨古墳群は平成一三年三月二六日に、国の史跡に指定され、松林山古墳を始めとする旧御厨村（新貝・鎌田）にある五基の古墳の総称です。

御厨古墳群

○八四（八七）に御厨の住人が独力で溝堀を掘り通したことなどが忽檢校村主永吉の言葉として伝えられており、一一世紀当時さかんに開発が行われた御厨である。

鎌田御厨の所在位置について、「遠江国風土記伝」によると、「西は今之浦の流れ以東、三箇野川、諸井川を限り北は原野、南は中嶋の海辺なり」とあって、今の磐田市の東南部から福田の中嶋にかけて存在していたものと考えられています。



松林山古墳・高根山古墳（手前）と連城寺古墳群（奥の山）



鎌田神明宮神殿



鎌田神明宮例祭・山車

夫々活動は次第に地域に根付き、さらに生徒個々の自主的な奉仕活動にまで育ちつつあり「福祉の神明」を目指しています。

神明アクトイブタイムと名付けた奉仕的活動を実践しています。

「福祉活動」が本校の特色の一つです。

当山は行基菩薩によって開山されたと伝えられる。行基菩薩が当地を訪れこの地に薬師如来の靈験ありと、山内の名木を用い一刀三札のものに敬刻された。薬師瑠璃光如来をご本尊として安置している。

弘仁年間（八一〇）八二二）嵯峨天皇は、当山の薬師如來御尊像の御靈験に感應せられ勅命にて七堂伽藍を建立し真言宗根本の道場となしたもう。当時の山様は広大な境内に本堂・金堂・講堂・五重の塔・三重の塔・鐘樓堂・仁王門三十六ヶ坊の末寺などが配置されていた。

木造洋風小学校です。明治五年（一八七二）十月に御厨村を開設した。第四十四区郷学所を受けついだ形で新築されました。新校舎の規模は二階建てで玄関部分だけが三階建ての当時としては大変めずらしいベンキ塗の校舎でした。

付学校の四、八五四円に比べて五、七八五円という多額

ですが資金は全て医王寺住職の松村淳高的寄付によるものでした。

淳高は、第四十四区郷を開設した伊藤淳岳の高弟で

仁王門三十六ヶ坊の末寺な

の篤志によって洋風近代小

明治8年坊中学校五等授業任命書

の篤志によって洋風近代小

学校を創設したことは、実

に感慨深いものがあります。

鎌田御厨

御厨の社 鎌田神明宮

由緒正しき式内社

神明中学校

学校を創設したことは、実に感慨深いものがあります。

同校は生徒会や福祉委員などが中心となり、学校生活や地域の話題を掲載した

「神明タイムズ」を毎日発行している。

これらの努力は高く評価され、一昨年は全国学校新聞コンクールで、内閣総理大臣賞を受賞、全国一の学校新聞となりました。

が図られ金剛院と称され、家康によつて伽藍の修復改められた。

書院の北から客殿の南にかけて広がる庭園は市の名勝地に指定されている。境内には鎌や鍔など農具が奉納されている。

鎌田神明宮は、白鳳二年（六五一）に創建された式内社で旧御厨村一七ヶ村の総鎮守で五穀豊穣・幼児虫封じの神として信仰され、拝殿には鎌や鍔など農具が奉納されている。

御厨とは伊勢神宮の神饌を整えるために設けられた神領地、莊園のこと。「召所」の敬語表現である。

神明宮の起源は、天武天皇の時代に伊勢神宮の外宮の神宮である豊受姫大神が、農具の鎌と鍔を持参してこの地にお渡りになったことにはじめます。

神明宮の神殿は、伊勢神宮の建築様式で、伊勢神宮が二〇年毎に対し、六〇年毎に造り替えし、御遷宮を行うことが慣例となっています。



神明中学校



鎌田山医王寺

付学校の四、八五四円に比べて五、七八五円という多額

ですが資金は全て医王寺住職の松村淳高的寄付によるものでした。

淳高は、第四十四区郷を開設した伊藤淳岳の高弟で

仁王門三十六ヶ坊の末寺な

の篤志によって洋風近代小

学校を創設したことは、実

に感慨深いものがあります。

学校を創設したことは、実に感慨深いものがあります。

人・出会い・感動……そして発見



袋井駅前 TEL.(0538) 43-1212
比那 純 (高15回)

地域に密着した医療を目指します
内科・小児科 **木佐森医院**
院長 木佐森正樹(高25回)
〒438-0077 磐田市国府台55-1
TEL.0538-32-2555
往診応談 禁煙治療(保険可)

処方せん受付 **キヨーレオピソ** **リサヘルス**

国府台薬局

磐田市国府台94-3 TEL 35-2175
鈴木 敬三(高9回) 鈴木麻里奈(高38回)

THE FOREST Country Club ザ・フォレストC.C.



変化に富んだ3コース(天竜・橘・一宮)27ホールズが魅力
コンペ・プライベートにご利用を!!
コース 〒437-0227 静岡県周智郡森町橘576-3
TEL.0538-85-4141(代) FAX.0538-85-4758

レンタル 建設仮設材レンタル
請負 クサビ式足場請負

人材 人材紹介・派遣サービス
機械 仮設材清掃機販売



株式会社 サイト

代表取締役 大庭 義信(高20回)

本社 浜松市西区伊左地町2790-1 ☎(053)485-4126(代)
東遠営業所 掛川市大坂6369 ☎(0537)72-4129
人材事業部 ☎ 0120-452-310

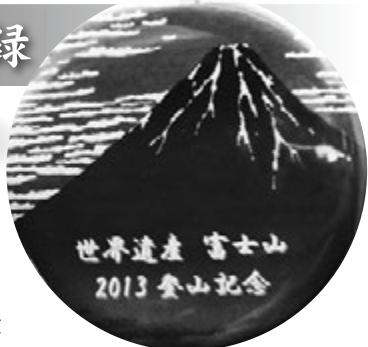
<http://www.your-site.co.jp>

祝 世界文化遺産登録

日本の宝

母校の校歌

霊峰富士に朝日照りそひ
ほのぼの晴るる四方の彩雲



ISO9001/ISO14001認証取得



石川建設株式会社

取締役社長 石川 大造(高12回)

磐田市今之浦5丁目1番地1
TEL.0538-36-0021(代)
<http://www.ishikawa-cnst.co.jp>

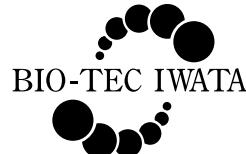
愛される
お弁当

いわきゆう

鷹野 靖(高15回)

〒438-0814 磐田市氣子島961
TEL 0538-36-9261 FAX 0538-37-3572

“人と地球の健康に貢献する”



磐田化学工業株式会社

本社 〒438-0078 静岡県磐田市中泉3069番地 TEL (0538) 35-5100(代)



応援します あなたの笑顔

磐田信用金庫

〒438-0078 磐田市中泉578番地1
TEL.0538-32-5110・FAX.0538-34-8021
<http://www.iwashin.co.jp/>

磐田脳神経外科病院

脳ドック検診受付けは随時

院長 金子的実(高21回)

〒438-0086 静岡県磐田市見付1766番地の1
TEL (0538)34-1111 FAX (0538)32-1441

<http://www.iwatanooge.com>

和の心 贈ります



かしゆう
菓子勇本店

かしゆう
菓子勇本店

6代目店主 山田 佳幸(高28回)
磐田市中泉坂上町2988 TEL・FAX 0538-32-3340

NAC ナックフィーディング株式会社

本社・工場〒438-0002 静岡県磐田市大久保117-3 TEL.(0538)38-2666[代表]
<http://www.nacweb.co.jp>

代表取締役社長 深見康弘 (高15回)

多目的電気乾燥庫

ドラッピーmini

新登場

超小型でも
大型サイズと同じ性能!

「干し野菜や
ドライフルーツづくりが
手軽にできます。」
「お弁当や飲み物・食材の
保温にも便利です。」



タテ484×ヨコ325×奥380mm

静岡製機株式会社 <http://www.shizuoka-seiki.co.jp/>
営業本部/〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300 TEL.(0538)23-2822

原田和義 税理士事務所

税理士 原田 和義 (高20回)

静岡県袋井市国本2493-7
TEL&FAX 0538-43-2462

地球環境にやさしく、60年以上安心して
快適に住み続けられる住まいの提供

セキスイハイム東海

浜松市中区板屋町111-2(アクトタワー25階) 〒430-7725
TEL:053-453-4560 FAX:053-453-4537
ホームページアドレス <http://www.816t.jp>



さわやかな環境をクリエイト
磐南浄化槽株式会社

代表取締役社長
木戸智弘 (高34回)

磐田市下岡田358-2 ☎36-0051 FAX 37-6622

TK 株式会社タニコー



あなたの大切な人を救う緊急救用
ラクラク39バー

高33回 水谷真啓 高33回 青山光男 (旧姓 金原)

磐田市南平松5番地 TEL 0538-67-1880(代) FAX 0538-67-1881
mizutanim@taniko.co.jp <http://www.taniko.co.jp>

ブランドリサイクル



浜松宮竹店・浜松西伊場店
磐田店・掛川店・古着バザール宮竹店

株式会社 ピックアップジャパン

金・ブランド買取専門店



キンバリー

浜松高林店・浜松向宿店
静岡SBS通り店
藤枝インター店・静岡草薙店

本部 磐田市今之浦3-4-2
URL : <http://www.pickup-japan.com>

長尾仁 税理士事務所

税理士 長尾仁 (高20回)

〒438-0086 磐田市見付3719-1
TEL.0538-35-9221 FAX.0538-32-8735

ネジ 小物部品・締結部品・
精密ネジ部品

ISO9001 認証取得
ISO14001



代表取締役会長 安間信義 (高7回)

代表取締役社長 安間浩彦 (高33回)

取締役 松島孝久 (高17回)

本社 〒430-0898 浜松市南区瓜内町540
TEL(053)441-4684(代) FAX(053)441-3452

祝 関東支部60周年

同窓会支部の益々のご発展をお祈り
いたします。

見中・磐田南高等学校 同窓会
会長 櫻井孝順

まるや薬局

本店

袋井市川井 消防署東
TEL(0538)42-3654

久能店

袋井市久能 聖隸袋井市民病院入口
TEL(0538)41-0631

高21回 木野省三

高54回 井上まり奈

高56回 木野旅人

母校の発展を祈る



磐田南高8回生

